

平成 28 年度

事業報告書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

公益社団法人臨床心臓病学教育研究会

平成 28 年度事業報告書

公益目的事業 1. 医療従事者（医師、薬剤師、研修医、看護師、臨床検査技師、医学生等）の能力・資質向上を図るための研修事業

1. 研修事業：医療従事者の能力・資質向上を図るための研修事業等を行う

(1) 臨床心臓病研修会（医療者向け）

[大阪府医師会生涯研修認定・大阪府薬剤師会生涯教育研修制度認定]

開催日：年 9 回、7, 8, 12 月を除く毎月原則第 3 土曜日に開催した。

時 間：午後 3 時～4 時 30 分 会場：ジェックス研修センター

参加者総数：164 名 受講料：会員無料、会員以外 1000 円

開催日	テーマ/(参加者数)	講師
2016 年 4 月 16 日(土)	ファブリー病の診断と治療について (12)	大阪医科大学内科学Ⅲ・循環器 内科助教 藤田 修一先生
5 月 21 日(土)	高齢化する糖尿病患者への治療戦略 (19)	北摂総合病院糖尿病・内分泌内科 竹内 徹先生
6 月 18 日(土)	肝臓内科医から見た糖尿病治療 (11)	大阪医科大学 第二内科 診療准教授 福西新弥先生
9 月 17 日(土)	高齢者の特徴を鑑みた糖尿病治療 how to (22)	恒昭会藍野病院 吉田麻美先生
10 月 15 日(土)	高齢化社会における脳血管障害予防戦略 (10)	大阪医科大学内科学 I 神経内科 講師 中嶋秀人先生
11 月 19 日	心原性脳梗塞症の制圧を目指して — 脳卒中の原因と予防 — (14)	みどりヶ丘病院 脳神経外科 医長 渡部 琢治先生
2017 年		
1 月 21 日(土)	糖尿病と認知症 (19)	藍野病院中央診療部長兼地域医 療連携センター長 山本直宗先生
2 月 25 日(土)	3 分間神経診察法 -症状から一発診断- (41)	大阪医科大学内科学 I (神経内科) 中嶋 秀人先生
3 月 25 日(土)	インスリンの歴史と治療の最前線 (16)	大阪医科大学糖尿病内科 佐野 寛行先生

平成 28 年度事業報告書

(2) 循環器専門ナース研修コース [受講料：155,000 円 (教材、夕食 4 回、税込)]

会 場：ジェックス研修センター

参加資格：1. 准看護師と正看護師(1年以上)合わせて満5年以上の実務経験者  
2. 満5年以上の実務経験を有する医療関係者(薬剤師、臨床検査技等)

参加者：夏季コース、冬季コース、各42名参加した。講師20名による講義実施。

日 程：夏季 7/16-17, 7/30-31, 8/20-21, 9/3-4 計：40 時間

冬季 1/14-15, 1/28-29, 2/18-19, 3/4-5 計：40 時間

	講義内容 (夏季・冬季共通)	
DAY 1	1. 心電図 (講師：高階・木野) 2. 循環器解剖学 (講師：寺崎) 3. 循環器生理学 (講師：岩永) 夕食後：コース内容紹介、受講生自己紹介	
DAY 2	1. 高血圧：原因、メカニズム、治療法 (講師：神出) 2. ECG：即治療を要する不整脈 (講師：栗田) 3. 慢性心不全：原因、メカニズム、治療法 (講師：坂田)	
DAY 3	1. 循環器薬理学 (講師：駒村) 2. 循環器病機能検査 CT, Treadmill, RI, PET (講師：谷口) 3. 「イチロー研修」 (講師：天野) 夕食後、「イチロー研修」身体所見、心音聴取実習 (天野・駒村・木野)	
DAY 4	1. 急性心不全：原因、メカニズム、治療法 (講師：猪子) 2. 慢性心不全の看護 (講師：中) 3. 心不全治療 (講師：戸田)	
DAY 5	グループに分かれて症例検討 (講師：斎藤・中・越智、 看護師グループ) 夕食後、イチロー研修 (講師：高階・斎藤)	
DAY 6	1. 循環器病機能検査 心エコー、MRI (講師：小糸) 2. ECG: ペースメーカー、ICD (講師：西本) 3. 心臓手術：体外循環、術後管理 (講師：近藤)	
DAY 7	1. 緩和ケア (講師：河野) 2. 心臓リハビリ (講師：佐藤) 3. カテ・カンファレンス (講師：森井) 夕食後、「イチロー研修」身体所見・心音聴取実習 (天野・木野・斎藤)	
DAY 8	1. Bedside Teaching (講師：高階・木野・斎藤・他) 講義内容の総復習：症例2例に基づき、所見、検査結果からどう考えるか、データを見るポイント等実践的な内容	

平成 28 年度事業報告書

[講師陣]

20 名

高階 経和	高階国際クリニック院長・近畿大学医学部客員教授 (公社)臨床心臓病学教育研究会理事長
木野 昌也	北摂総合病院院長/理事長・(公社)臨床心臓病学教育研究会会長
斎藤 隆晴	関西電力病院内科部長
小糸 仁史	美杉会男山病院内科・副院長
寺崎 文生	大阪医科大学医学部教育センター専門教授
栗田 隆志	近畿大学医学部附属病院心臓血管センター教授
西本 泰久	大阪府三島救急医療センター顧問 京都橘大学教授
近藤 敬一郎	大阪医科大学功労教授 北摂総合病院顧問
森井 功	北摂総合病院副院長兼救急診療科部長兼循環器科
戸田 宏一	大阪大学大学院医学系研究科外科学講座心臓血管外科准教授
駒村 和雄	神戸学院大学栄養学部 臨床検査学第3部門 教授
谷口 泰代	兵庫県立姫路循環器病センター循環器内科部長
岩永 善高	近畿大学医学部循環器内科学准教授
坂田 泰史	大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学教授
神出 計	大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻総合ヘルスプロモーション 科学講座教授
猪子 森明	田附興風会医学研究所北野病院心臓センター長
天野 利男	天野内科循環器科院長
佐藤 真治	大阪産業大学人間環境学部スポーツ健康学科教授
河野 由枝	国立循環器病研究センター緩和ケア認定看護師
中 麻 規子	広島大学病院心不全センター慢性疾患看護専門看護師

(3) 「イチロー研修」：心臓病患者シミュレータを使った臨床研修が開催された：

6/25 (土) 09:30 - 12:30	第 212 回日本内科学会近畿地方会 研修医・学生のためのスキルアップ セミナー「わかった！なっとく！の ベッドサイド診察法」	会場：大阪国際交流センター 講師ジェックス役員：天野利男、斎藤隆晴、 木野昌也 参加費：無料 参加者：19名
12/03 (土) 09:30-12:30	第 214 回日本内科学会近畿地方会 「研修医・学生のためのベッドサイド 診察法」	会場：大阪国際交流センター 同上 参加者：6名

(4) 第 1 回：臨床検査技師のための「心エコー」研修が下記要領で開催された：

開催日：平成 28 年 6 月 5 日（日曜日） 午前 10 時～午後 4 時（5 時間コース）

会場：北摂総合病院（高槻市）多目的ホール

## 平成28年度事業報告書

講師：諏訪道博（北摂総合病院診療部臨床検査科部長・超音波学会指導医）

超音波学会認定超音波検査師 4人

参加者：17名

受講料：ジェックス会員 8,000円 会員以外：15,000円（テキスト、昼食代含む）

第2回：臨床検査技師のための「心エコー」研修は、上記と同じ要領で開催された。

開催日：平成29年度3月26日（日曜日）参加者：6名であった。

- (5) 医学生・研修医・看護師・コメディカル（その他医療従事者）のための e-Learning：  
当法人ホームページ上に学習用アプリケーションシステムである「e-Learning」を  
設け掲載し、インターネットを通じて誰でも、何時でも、何処でも、何度でも学ぶ  
ことができる。
- (6) 第7回薬剤師のための医学講座「イチローを使用して学ぶ「バイタルサイン」が下  
記要領にて開催された：  
開催日：平成28年10月9日（日）09:00－16:30  
会場：ジェックス研修センター  
講師：ジェックス理事（高階経和、駒村和雄）  
参加者：20名  
受講料：会員 8,000円、会員以外 1万円
- (7) 「2日間で学ぶ心電図集中講座」が下記要領にて開催された：  
開催日：平成28年11月5日（土）14:30－20:00、11月6日（日）10:00－12:00  
会場：ジェックス研修センター  
講師：ジェックス理事（高階経和、木野昌也、小糸仁史）  
参加者：30名  
受講料：会員 1万円、会員以外 1万5千円（テキスト、夕食代込）
- (8) アジア・ハート・ハウス大阪セミナーが下記要領にて開催された：  
開催日時：平成28年7月3日（日）13:30－16:30  
会場：AP 大阪梅田茶屋町（大阪市北区梅田茶屋町）  
テーマ：「みんなで考えよう！ニッポンの医療 シリーズ14」  
～臨床現場での薬剤師の役割～  
第1部：  
講演：「iPS細胞と創薬研究～iPS細胞を医薬品開発に役立てるには？～」  
講師：水口 裕之氏（大阪大学大学院薬学研究科分子生物学分野 教授）

## 平成 28 年度事業報告書

### 第 2 部

パネルディスカッション：

テーマ：「期待される薬剤師の臨床能力とは」

- ① 服薬管理（複数医療機関の処方管理、ポリファーマシーの問題検討）
- ② 薬物治療に関する医看薬連携（処方システムについて検討する）

医師：加納 康至 先生（ジェックス理事）

薬剤師：山本 克己 先生（大阪府薬剤師会副会長）

谷澤 靖博 先生（大阪府薬剤師会専務理事・薬局開局者）

看護師：立石 容子 先生（大阪府訪問看護ステーション協会副会長）

参加者：192 名

- (9) 第 64 回日本心臓病学会学術集会：JCC・JECES 共同プログラムに参加した。

会期：平成 28 年 9 月 24 日（土）午前・午後、9 月 25 日（日）午前の 3 回

会場：東京国際フォーラム 参加者：26 名

内容：レクチャー 30 分、実践的トレーニング 90 分、症例検討 60 分 セット：3 回

\*レクチャー：「心臓病患者のベッドサイド診察法について」（講師：高階経和）

\*心臓病患者シミュレータ（イチロー）を使用した実践的トレーニング：

「臨床における 3 つの言葉を学ぶ心臓病患者シミュレータ」

～心臓診察における身体所見のとり方～

座長：天野利男、講師：斎藤隆晴、駒村和雄、木野昌也、高階経和

\*心臓病患者シミュレータ（イチロー）を使用した症例検討：

「症例の提示と心臓診察の実際」

座長：木野昌也 講師：斎藤隆晴

### 2. 医療従事者に対する上記事業の情報提供・広報事業：

- ・年 5 回刊行（毎回 1,000 部）の機関誌「ニュースレター」、ホームページを通じて上記事業についての情報を提供した。
- ・「アジア・ハート・ハウス大阪セミナー」の内容は、抄録本として医療者、会員及び参加者に無料配布された。
- ・医療情報誌「シュネラー」に当法人理事長が定期的に医療関連記事を寄稿した。  
発行：株式会社ファルコバイオシステムズ「シュネラー」編集局：季刊各 12,000 部  
対象：全国の医師、医科大学、大学医学部、病院医師等（無料配布）

平成 28 年度事業報告書

公益目的事業 2. 一般市民を対象にした生活習慣病予防のための知識普及・啓発事業

1. 一般市民を対象にした生活習慣病予防のための公開講座・セミナー事業

(1) 生活習慣病研修会（一般市民向け・薬剤師も対象）

[大阪府薬剤師会生涯教育研修制度認定研修会]

開催日：年 9 回、7, 8, 12 月を除く毎月原則第 2 水曜日に開催した。

時 間：午後 2 時～3 時 30 分 会場：ジェックス研修センター

参加者：352 名 受講料：無料

開催日	テーマ/(参加者数)	講師
4 月 13 日(水)	「すべての生活習慣病の黒幕は動脈硬化！」： その予防法の提案 (42)	木戸医院院長 木戸友幸先生
5 月 11 日(水)	コレステロール低下療法の”さじ加減”を 考える～ (38)	北摂総合病院副院長 循環器科 森井 功先生
6 月 8 日(水)	生活習慣病と心不全 (47)	国立循環器病研究センター 心不全科医長 菅野康夫先生
9 月 14 日(水)	糖尿病の合併症をご存知ですか ～ しめじとえのき ～ (42)	大阪府立急性期・総合医療センタ ー 薬局調剤グループ総括主査 的場美香先生
10 月 12 日(水)	糖尿病と循環器疾患 (30)	大阪医科大学循環器内科 講師 森田英晃先生
11 月 9 日(水)	“血液サラサラのくすり”について (40)	祐生会みどりヶ丘病院 循環器内科部長 竹内大亮先生
2017 年		
1 月 18 日(水)	膝の健康維持に知っておきたい病気とケア (45)	大阪医科大学 整形外科 大槻周平先生
2 月 8 日(水)	糖尿病とうまくつきあう ～自分の主治医になろう～ (35)	高槻赤十字病院糖尿病・内分泌・ 生活習慣病部長 金子至寿佳先生
3 月 8 日(水)	糖尿病と上手に付き合うためのヒント (33)	北摂総合病院糖尿病・内分泌内科 竹内徹先生

## 平成 28 年度事業報告書

### (2) 地方自治体の実施する講演会等での出張講義事業

地方自治体が主催する市民を対象とした講演会（老人クラブ、地域女性団体協議会等）に協力し、講師として当法人の吉田芳子理事を派遣する予定であった。

担当者の吉田芳子理事の健康上の理由で開催中止となった。

### (3) 理事長特別講演会が下記要領にて開催された：

開催日時：平成 28 年 6 月 11 日（土）午後 2 時～午後 3 時 30 分

会 場：ジェックス研修センター

演 題：「聴診器は単なる医師のシンボルに過ぎないのか」

参加者：会員、市民一般、31 名 参加費：無料

### (4) 「市民のための聴診教室」が平成 29 年 11 月より「生活習慣病研修会」終了後の 30 分間程度を使い、希望者を対象に各自が聴診器を使ってイチローの心音を聴いたり自分の心音を聴くという経験をしてもらう試みで高階経和理事長が担当した。

参加者：平成 28 年 11 月 9 日 25 名

平成 29 年 1 月 18 日 15 名

平成 29 年 2 月 8 日 12 名

平成 29 年 3 月 8 日 12 名



## 平成 28 年度事業報告書

### 2. 一般市民に対する情報提供・広報事業

#### (1) 一般市民に対する広報事業

インターネットによるホームページを通じて事業・セミナー等の内容を掲載した。また、生活習慣病予防の基礎知識について情報提供した。「あなたの症状にお答えします」欄では、ジェックス担当理事等が適切な回答、提案をした。当法人の機関誌「ニューズレター」、その他の出版物の刊行を通じて一般市民に情報提供や知識啓発等を図った。

#### (2) 月刊誌「ニューライフ」への寄稿事業

大阪府を中心に発行部数 18 万部の月刊誌「ニューライフ」に当法人会長が毎月ボランティアとして生活習慣病予防や医療制度について解説する記事を寄稿した。

発行・編集：(株) ニューライフ 大阪市淀川区西中島 7 丁目 9-12

対象：生活協同組合、主婦一般、書店で販売されている：定価 320 円

平成 28 年発行月：テーマ

5 月：高血圧にまつわる様々な誤解 7

「塩分をとりすぎるとなぜ高血圧になるのか 1」

6 月：高血圧にまつわる様々な誤解 8

「塩分をとりすぎるとなぜ高血圧になるのか 2」

7 月：高血圧にまつわる様々な誤解 9

「食塩感受性高血圧」

9 月：高血圧にまつわる様々な誤解 10

「本態性高血圧の成因」

10 月/11 月/12 月：高血圧にまつわる様々な誤解 11/12/13

「ガイドン—科学界の巨人 1/2/3」

平成 29 年 1 月：高血圧にまつわる様々な誤解 14

「ガイドン—科学界の巨人 4」

3 月：「超高齢化社会と日本の医療 1」

## 平成 28 年度事業報告書

### 公益目的事業 3. 臨床心臓病学に関する医師、看護師及び医学生向け海外研修の参加費用助成事業

#### 1. 助成事業：臨床心臓病学に関する医師、看護師、医学生向け海外研修の参加費用助成

- (1) Japan Myanmar Medical Help Group 代表の Dr. Than Htay（京都大学にて医師免許・博士号取得、ジェックス会員）の要請に応じて、ジェックス理事を含む医師 1 名をミャンマーへ出張講義のため派遣に要する経費（航空運賃等）の一部に対しての助成を行った。今回の研修は、ミャンマー日本大使館が後援（名義使用）した。

研修日・会場：平成 28 年 8 月 18 日（木）・私立病院協会（ヤンゴン）

平成 28 年 8 月 19 日（金）・Sangha Hospital（ネピドー）

講義内容：心電図と心エコーの基礎編及び臨床編を計 2 回、2 箇所で開催した。

心エコーでは、心臓病患者の協力を得てライブデモが好評を博した。

参加者：開業医を中心に看護師を含めて夫々 50 名以上が参加し質疑応答にも熱心に参加した。

講師：太田 剛弘（高の原中央病院かんさいハートセンター長）

小糸 仁史（公益社団法人臨床心臓病学教育研究会業務執行理事）

- (2) 平成 28 年度「第 8 回看護師のためのオーストラリア研修助成事業」

対象は、循環器専門ナース研修修了生から 4 名の希望者を応募作文により選考する。緩和ケア全般、家庭における介護医療等について、この分野で優れた実績を誇るオーストラリア、メルボルン郊外にあるバンクシア緩和ケア・サービス法人にて学ぶ他、病院、介護ホーム並びに個人宅訪問を含めた 4 日間の研修。通訳を含む研修の部分を助成する。（旅費・宿泊費・食費等は、参加者負担）

研修募集要項発表：平成 28 年 6 月中旬

応募期間：平成 28 年 8 月 1 日～8 月 31 日

研修実施を平成 29 年 2 月 5 日（日）～12 日（日）に予定していたところ、今回は、応募者が催行予定数に満たなかったため中止となった。

#### 2. 上記事業の情報提供・広報事業：

- ・年 5 回発行（毎回 1,000 部）の機関誌「ニュースレター」、ホームページを通じて上記事業についての情報を公表した。